

平成30年度第2四半期

---

厚生年金保険給付積立金 管理及び運用実績の状況  
(地方公務員共済)

## 平成30年度 第2四半期運用実績 (概要)

運用利回り  
(第2四半期)

+ 3. 1 0 % ※収益率 (時価)  
(+ 0. 8 2 % ※実現収益率 (簿価) )

運用収益額  
(第2四半期)

+ 6, 5 8 2 億円 ※総合収益額 (時価)  
(+ 1, 5 0 6 億円 ※実現収益額 (簿価) )

運用資産残高  
(第2四半期末)

2 2 兆 8 3 2 億円 ※時価

年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。  
総合収益額は、各期末時点での時価に基づくものであるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

- (注1) 特に記載のない場合は、収益率(時価)は修正総合収益率のことをいいます。(以下、同様)  
(注2) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。  
(注3) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。  
(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## 目次

- ・平成30年度 市場環境（第2四半期）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- ・平成30年度 資産構成割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- ・平成30年度 運用利回り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- ・（参考）平成29年度 運用利回り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- ・平成30年度 運用収入額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- ・（参考）平成29年度 運用収入額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
- ・平成30年度 資産額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
- ・（参考）平成29年度 資産額・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
- ・用語解説（50音順）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13

※ 当該報告書は、地共済の管理及び運用の状況を取りまとめたものです。

## 平成30年度 市場環境 (第2四半期) ①

### 【各市場の動き (平成30年7月～平成30年9月)】

- 国内債券**：10年国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。日銀が7月31日の金融政策決定会合で「強力な金融緩和継続のための枠組み強化」により長期金利の変動幅拡大を許容したことを受け、0.1%を下回って推移していた長期金利は0.1%台に上昇して推移しました。
- 国内株式**：国内株式は上昇しました。米中貿易摩擦への懸念がくすぶる中、日経平均株価は7月初旬に21,500円近辺まで下落した後は、堅調な企業業績が続く一方、トルコ情勢の悪化などを材料に、概ね22,000円台での推移が続きました。9月中旬以降は、米株高や円安に支えられ、9月末に24,000円台に上昇しました。
- 外国債券**：米国10年国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。米中貿易摩擦懸念や利上げ打ち止め観測の浮上などから、8月に一時2.8%台前半まで低下しましたが、良好な米経済指標やFRBによる今年3回目の利上げ実施などを背景に、3.0%台に上昇しました。ドイツ10年国債利回りは、米長期金利に概ね連動する展開となり上昇しました。
- 外国株式**：米国株式は上昇しました。好調な経済指標や企業決算などを背景に上昇を続け、9月21日にはNYダウは史上最高値を更新しました。一方、ドイツ株式は、南欧政治不安やトルコ情勢の悪化が欧州金融機関に与える影響を警戒して、小幅に下落する展開となりました。
- 外国為替**：ドル/円は円安となりました。堅調な米経済やFRBによる利上げの継続観測の一方、米中貿易摩擦懸念やトルコ情勢の悪化などを背景に、9月中旬まで111円前後でもみあう展開が続きました。その後は日米の株高や米金利上昇により円安となりました。ユーロ/円は欧州金利上昇などを受けて円安となりました。

### 【ベンチマーク収益率】

	平成30年7月 ～平成30年9月
国内債券 NOMURA-BPI総合	-0.96%
国内株式 TOPIX(配当込み)	5.86%
外国債券 FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	1.40%
外国株式 MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)	7.10%

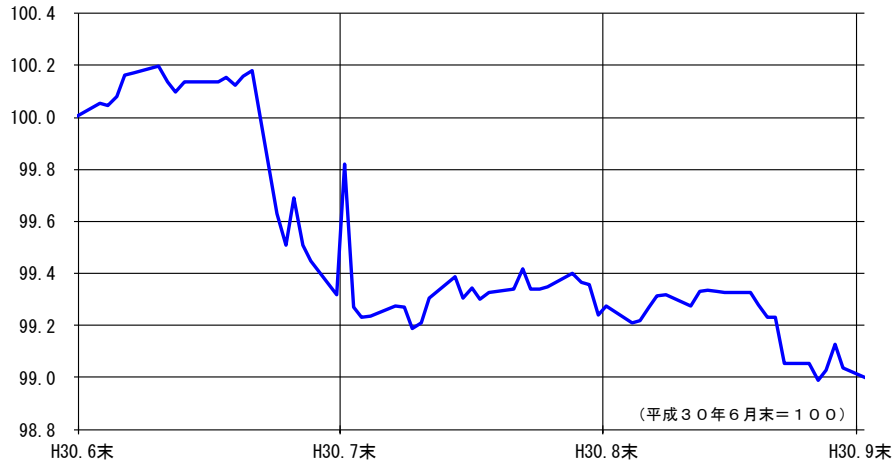
### 【参考指標】

		H30年6月末	H30年7月末	H30年8月末	H30年9月末
国内債券	(10年国債利回り) (%)	0.04	0.06	0.11	0.13
国内株式	(TOPIX配当なし) (ポイント)	1,730.89	1,753.29	1,735.35	1,817.25
	(日経平均株価) (円)	22,304.51	22,553.72	22,865.15	24,120.04
外国債券	(米国10年国債利回り) (%)	2.86	2.96	2.86	3.06
	(ドイツ10年国債利回り) (%)	0.30	0.44	0.33	0.47
外国株式	(NYダウ) (ドル)	24,271.41	25,415.19	25,964.82	26,458.31
	(ドイツDAX) (ポイント)	12,306.00	12,805.50	12,364.06	12,246.73
外国為替	(ドル/円) (円)	110.75	111.93	110.87	113.60
	(ユーロ/円) (円)	129.29	130.97	129.01	131.92

## 平成30年度 市場環境 (第2四半期) ②

ベンチマークインデックスの推移 (平成30年7月～平成30年9月)

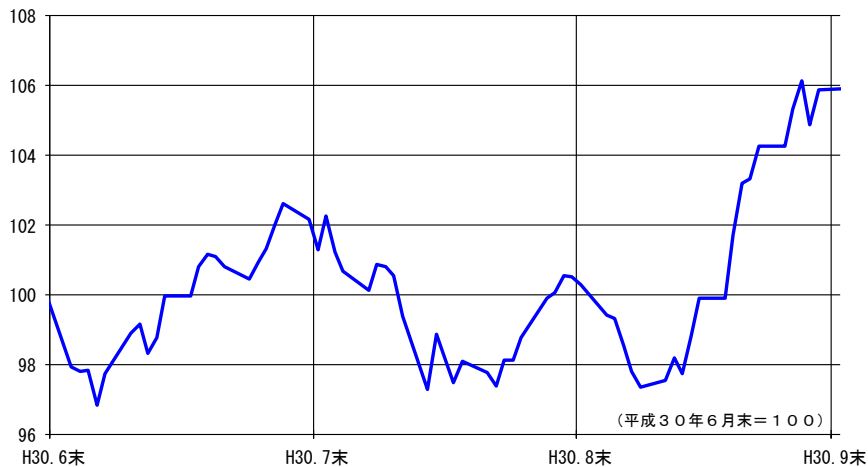
【国内債券】



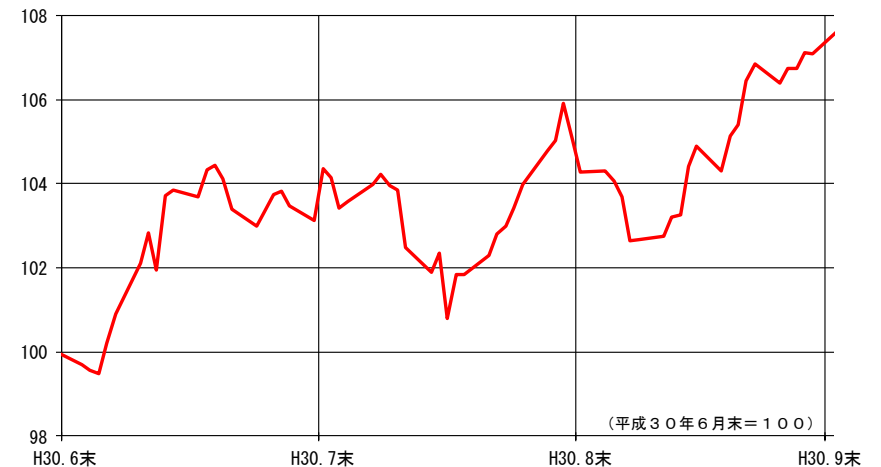
【外国債券】



【国内株式】



【外国株式】

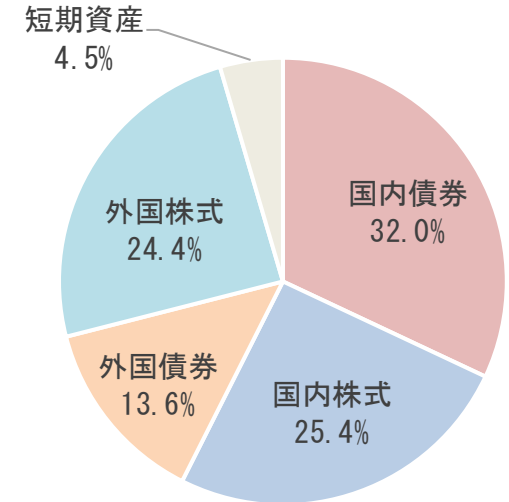


## 平成30年度 資産構成割合

(単位：%)

	平成29年度	平成30年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	34.3	34.1	32.0	—	—
国内株式	25.2	25.3	25.4	—	—
外国債券	13.6	14.0	13.6	—	—
外国株式	21.4	23.8	24.4	—	—
短期資産	5.5	2.8	4.5	—	—
合計	100.0	100.0	100.0	—	—

第2四半期末 運用資産別の構成割合



(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券35% (±15%)、国内株式25% (±14%)、外国債券15% (±6%)、外国株式25% (±12%) です (括弧内は、許容乖離幅)。

(注2) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。

(注4) オルタナティブ資産が積立金全体に占める割合は0.3% (上限5%) です。

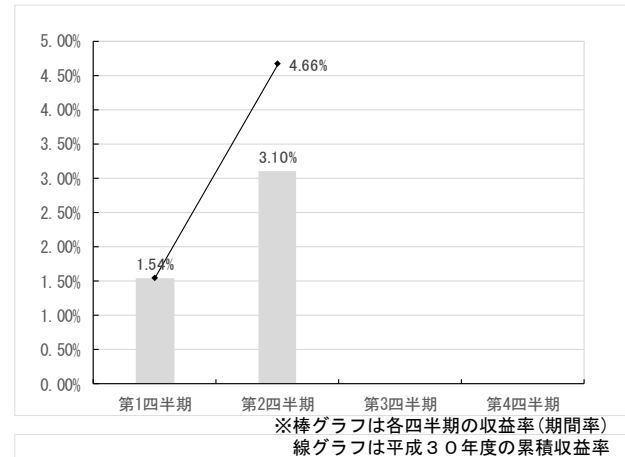
(注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## 平成30年度 運用利回り

- 平成30年度第2四半期の収益率(時価)は、内外株式市場の上昇等により3.10%となりました。  
 なお、実現収益率(簿価)は、0.82%です。  
 ○資産別の収益率(時価)については、国内債券は▲0.72%、国内株式は5.83%、外国債券は1.52%、  
 外国株式は7.01%となりました。

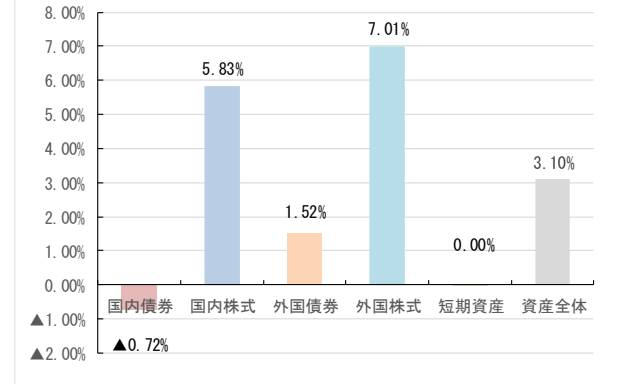
(単位：%)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
収益率(時価)	1.54	3.10	—	—	4.66
国内債券	0.20	▲0.72	—	—	▲0.52
国内株式	0.82	5.83	—	—	6.62
外国債券	0.78	1.52	—	—	2.32
外国株式	5.14	7.01	—	—	12.47
短期資産	0.00	0.00	—	—	0.00



(単位：%)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	1.02	0.82	—	—	1.83



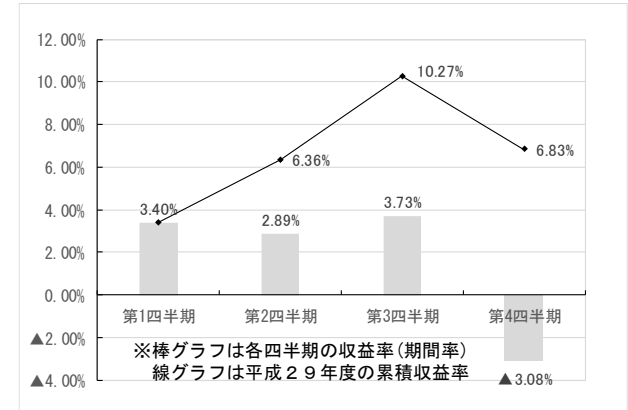
- (注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。  
 (注2) 「年度計」は平成30年度上半期の収益率です。  
 (注3) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。  
 (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

※第2四半期の収益率(期間率)

(参考) 平成29年度 運用利回り

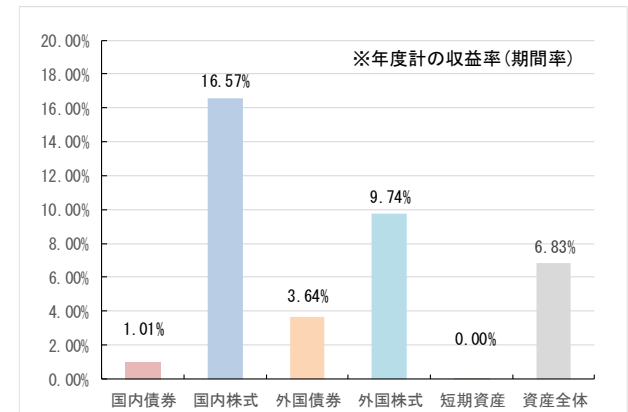
(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
収益率(時価)	3.40	2.89	3.73	▲3.08	6.83
国内債券	0.08	0.35	0.35	0.25	1.01
国内株式	6.86	5.13	8.97	▲4.49	16.57
外国債券	4.80	2.45	1.31	▲4.25	3.64
外国株式	5.51	5.56	5.54	▲6.39	9.74
短期資産	0.00	0.00	0.00	▲0.00	0.00



(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率(簿価)	0.92	1.23	1.03	1.24	4.42



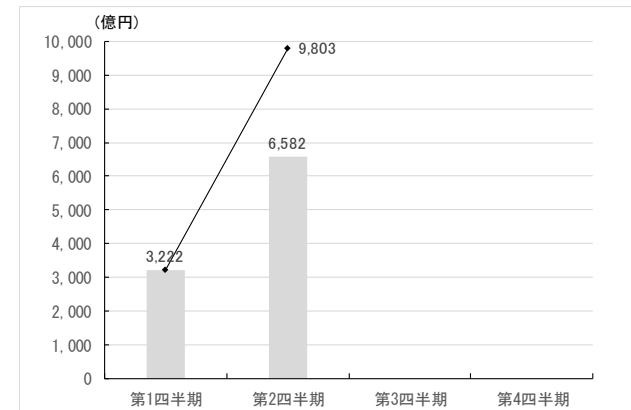


## 平成30年度 運用収入額

- 平成30年度第2四半期の総合収益額(時価)は、6,582億円となりました。  
 なお、実現収益額(簿価)は、1,506億円です。  
 ○資産別の総合収益額(時価)については、国内債券は▲515億円、国内株式は3,103億円、外国債券は449億円、  
 外国株式は3,545億円となりました。

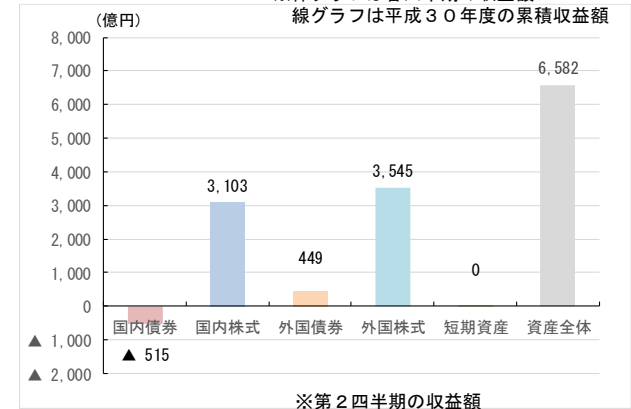
(単位：億円)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額(時価)	3,222	6,582	—	—	9,803
国内債券	145	▲515	—	—	▲370
国内株式	439	3,103	—	—	3,542
外国債券	226	449	—	—	675
外国株式	2,412	3,545	—	—	5,957
短期資産	0	0	—	—	0



(単位：億円)

	平成30年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額(簿価)	1,862	1,506	—	—	3,368

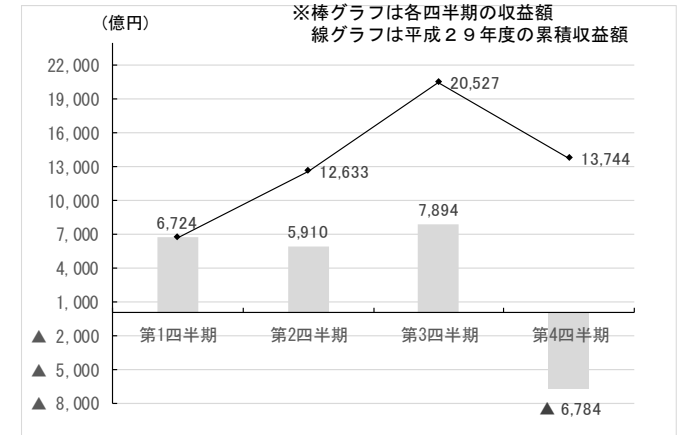


- (注1) 「年度計」は平成30年度上半期の収益額です。  
 (注2) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。  
 (注3) 総合収益額(時価)は、実現収益額(簿価)に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。  
 (注4) 実現収益額(簿価)は、売買損益及び利息・配当金収入等です。  
 (注5) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。  
 (注6) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 平成29年度 運用収入額

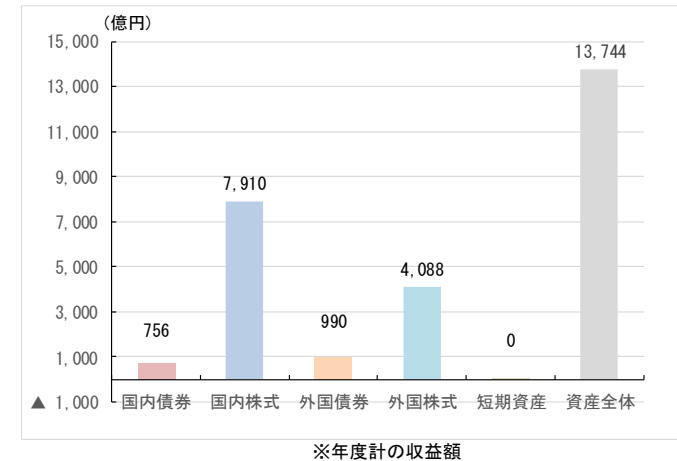
(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額(時価)	6,724	5,910	7,894	▲6,784	13,744
国内債券	62	257	253	184	756
国内株式	3,193	2,560	4,704	▲2,547	7,910
外国債券	1,220	681	388	▲1,299	990
外国株式	2,248	2,412	2,549	▲3,122	4,088
短期資産	0	0	0	▲0	0



(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額(簿価)	1,625	2,201	1,880	2,282	7,988



平成30年度 資産額

(単位：億円)

	平成29年度			平成30年度											
	年度末			第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	70,482	73,161	2,680	68,692	71,381	2,689	68,698	70,659	1,961	—	—	—	—	—	—
国内株式	41,852	53,724	11,872	41,541	53,062	11,521	41,829	56,174	14,345	—	—	—	—	—	—
外国債券	29,511	29,075	▲436	29,425	29,308	▲117	29,822	30,012	190	—	—	—	—	—	—
外国株式	33,510	45,811	12,301	35,715	49,930	14,215	36,751	53,967	17,215	—	—	—	—	—	—
短期資産	11,806	11,806	▲0	5,953	5,953	▲0	10,020	10,020	0	—	—	—	—	—	—
合計	187,161	213,577	26,416	181,326	209,633	28,307	187,121	220,832	33,711	—	—	—	—	—	—

- (注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。  
 (注2) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として該当する資産区分に計上しています。  
 (注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

## (参考) 平成29年度 資産額

(単位：億円)

	平成28年度			平成29年度											
	年度末			第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	75,066	78,505	3,440	71,703	74,930	3,227	70,590	73,570	2,981	69,942	73,029	3,087	70,482	73,161	2,680
国内株式	38,532	46,244	7,712	39,551	49,831	10,280	39,516	51,612	12,097	40,809	56,245	15,435	41,852	53,724	11,872
外国債券	25,660	25,049	▲611	26,517	27,060	543	28,215	29,226	1,011	29,312	30,459	1,147	29,511	29,075	▲436
外国株式	30,347	40,467	10,120	31,176	43,004	11,828	31,946	45,729	13,783	32,553	48,507	15,954	33,510	45,811	12,301
短期資産	10,212	10,212	▲0	6,953	6,953	0	12,233	12,233	0	9,035	9,035	0	11,806	11,806	▲0
合計	179,817	200,478	20,661	175,899	201,778	25,878	182,498	212,370	29,872	181,651	217,275	35,624	187,161	213,577	26,416

## 用語解説 (50音順) ①

## ○ 厚生年金保険給付積立金

被用者年金一元化後、組合等が厚生年金保険給付のため管理運用している厚生年金保険給付組合積立金と、地共連が組合等の厚生年金拠出金及び基礎年金拠出金の負担に要する資金が不足した場合に必要な額を交付するためなどに積立している厚生年金保険給付調整積立金を合せた積立金です。

## ○ 実現収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。売買損益 及び 利息・配当金収入等の実現収益額を元本（簿価）平均残高で除した元本（簿価）ベースの比率です。

## ○ 修正総合収益率

時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加え、時価に基づく収益を把握し、それを元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

(計算式)

$$\begin{aligned} \text{修正総合収益率} = & \{ \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減 (当期末未収収益} - \text{前期末未収収益)} \\ & + \text{評価損益増減 (当期末評価損益} - \text{前期末評価損益)} \} \div (\text{元本 (簿価) 平均残高} \\ & + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益}) \end{aligned}$$

## ○ 総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。

(計算式) 
$$\begin{aligned} \text{総合収益額} = & \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減 (当期末未収収益} - \text{前期末未収収益)} \\ & + \text{評価損益増減 (当期末評価損益} - \text{前期末評価損益)} \end{aligned}$$

## 用語解説 (50音順) ②

### ○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指標を使用しています。

地共連で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。

#### 1 国内債券

##### ・ NOMURA-BPI 総合

野村証券株式会社が作成・公表している国内債券のベンチマークです。

※NOMURA-BPI 総合は、その著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、当該指数に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該指数の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### 2 国内株式

##### ・ TOPIX (配当込み)

東京証券取引所が作成・公表している国内株式のベンチマークです。

※TOPIX配当指数の指数値の標章は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、指数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利及びTOPIX配当指数等の標章に関するすべての権利は東京証券取引所が有します。

#### 3 外国債券

##### ・ FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している外国債券のベンチマークです。

※このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### 4 外国株式

##### ・ MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)

MSCI Incが作成・公表している日本を除く先進国及び新興国で構成された外国株式のベンチマークです。

### ○ ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率、いわゆる市場平均収益率のことです。